

岩手

◆盛岡電友会

◎定期総会開催

平成26年4月16日エスポワールいわてにおいて、会員73名の参加により平成26年度盛岡電友会総会が開催されました。

ご来賓としてNTT東日本―岩手総務課長藤原様を始め、営業推進担当課長岩橋様、NTTドコモ東北支社岩手支店長池田様、NTTフアシリティーズ岩手支店長島中様、テルウェル東日本岩手支店長熊谷様にご臨席たまわりました。

冒頭、澤田会長から「平成25年度盛岡電友会各種活動への会員参加の謝意と平成26年度盛岡電友会を取巻く環境の変化が予想され、その変化に柔軟に対応するため会員のご理解とご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

ご来賓を代表して藤原様から「他社との競争激化の中、フレッツ光回線も1000万加



総会模様

入を達成したが、伸び率が鈍化して来ている。人と人を通信で繋ぎ、安定したサービスを提供する情報通信事業者として、安全・安心をブランドに責任を果たして行きたい」とNTT東日本岩手支店長加藤様からの挨拶披露がありました。

続いて物故会員への黙祷の後、議長に理事の吉田博至さんを選出して議事に入り、平成25年度活動報告・会計報告及び平成26年度活動計画・予算のほか役員を選任について提案がなされ、満場一致で承認されました。

新役員は、次のとおりです。

監事 工藤正廣

理事 阿部光子、渡辺寛志

議事終了後、NTT東日本―岩手営業推進担当課長岩橋様から「フレッツ光お友達キャンペーンと昭和レトロなふれあい広場のイベント紹介」があり、販売への協力依頼がありました。

総会終了後、佐々木恭一理事の司会で68名の参加を得て懇親会を開催しました。鈴木芳藏さんの乾杯の音頭のもと、会員相互の情報交流により旧交・親睦を深め、盛会の内に終了となりました。

◎電信電話記念日を祝う会開催

退職者有志の企画による11回目の「電信電

話記念日を祝う会」が10月28日市内のホテルで盛大に開催されました。

ご来賓に加藤NTT岩手支店長と幹部の皆様、そして三浦NTT労組岩手分会長の8名をお迎えし、退職者の参加者89名と懇親を深めました。

会の冒頭これまでの物故者に対し、黙祷をささげ、ご冥福を祈りました。

ついで澤田会長の主催者挨拶、加藤支店長のご祝辞をいただき、乾杯。

OB相互そして現役幹部等ご来賓の皆様との懇談と予定された2時間余りが瞬く間に過ぎ去りました。

◎サークル活動

(1) グラウンドゴルフ同好会

平成25年度分の活動は9月末で終わった。11月12日岩手県アピオの芝生で成績に関係ないプレーをした後、滝沢市ニューランド姫神で18名参加して納会を行い、それぞれの表彰を行った。4月11日の総会で25年度の日程を4月から10月まで27回行うことを決定したが、雨その他の事情で4回がキャンセルとなり残念にも23回で終わった。平成25年度の参



第11回電信電話記念日を祝う会

加実績は次の通り。

4月48名 5月67名 6月30名 7月69名

8月38名 9月36名 県大会14名

盛岡退職者協会レク20名 総会その他54名と総計376名の参加者であった。

会員数が年齢・体調の都合で24名に減少し24年度実績535名に比較して29.7%も少なくなっている。

時代の変化と退職後の事情もありサークル活動に参加する人が少なくなってきた。今後幾人でも良いから勧誘して会員を増やす企画をしていく事とする。

(2)ゴルフサークル

25年度は3月16日の総会からスタートすることになりました。

年間活動回数は、4月の第1回例会から11月の第8回例会まで、毎月開催し、総参加人数は、307名で1回当たり35名を超える参加者で盛大な開催となりました。

参加者は、盛岡、二戸、宮古、大船渡、平泉一関、水沢、北上、花巻、鹿角(秋田)の各地からのゴルフ好きが集まり、毎月第2金曜日に岩手の中央に位置する盛岡南CCで開催しました。

一方、恒例の北3県親善コンペは27回目を迎え、秋田県の樺台GCで、5月31日に開催

され、岩手から21名が参加し、優勝と準優勝に輝きました。

また、今年で2回目の宮城との親善コンペを宮城の松島国際CCにて、両県合わせて56名の参加者で6月10日に開催され、昔の懐かしい仲間との再会を楽しみました。

11月の最後の例会後は花巻台温泉の吉野屋で1年間の疲労回復と反省を兼ねてクラブ納めを行い、来年度のスコアアップと健康増進へ新たな決意をしたところです。

各月の優勝者と参加者は次のとおりです。

4月	横田 邦幸	参加者35名
5月	平野 善章	参加者37名
6月	門脇 忠	参加者36名
7月	黒川 健児	参加者36名
8月	古川 好	参加者35名
9月	中島 一元	参加者37名
10月	及川 信次	参加者35名
11月	横田 邦幸	参加者33名

(3)高松囲碁クラブ

高松囲碁クラブは、4月27日総会后、11名の参加により定期大会を開催し新年度の活動をスタートさせた。

前年度から2名の会員増となり囲碁クラブとして新会員の加入により活況が出てきたと感じています。

平成25年度の活動状況は、例年通り4月、7月、10月、1月の定期大会(39名参加)、5月の北4県親善囲碁大会(盛岡市紫温泉にて8名参加)、IT全国大会(12月東北大会3名、2月全国大会1名参加)、1月の盛岡市長杯職場対抗戦(6名参加、定例会月2回10名参加)となっています。

①定期大会成績 優勝 準優勝

4月11名参加	新井田倉夫	菅原 正悦
7月8名参加	田屋 実	菅原 正悦
10月10名参加	細野 直彦	永沢 昇
1月10名参加	澤田 俊夫	新井田倉夫
②北4県親善囲碁大会	8名参加	準優勝
③IT全国囲碁大会		

(予選東北大会) 7名参加(応援者含む)

Aクラス	澤田 俊夫四段	初戦敗退
Bクラス	菅原 正悦初段	東北大会優勝
Cクラス	岩清水裕悦二級	初戦敗退
2月13日全国大会	菅原 正悦初段	
一回戦不戦勝	2回戦勝抜き	3回戦敗退
④盛岡市長職場対抗戦	6名参加	
Aクラス(黒川・村上・澤田)		
予選勝ち上がり	本線敗退	
Bチーム(荒木田・永沢・小川)		
予選勝ち上がり	本線敗退	

以上、全般的に大会等の成績が向上し、棋力向上が図られてきている。

(4)不來方釣りクラブ

6月は、山田町の船越家族旅行村にトレーラーハウスが4棟設置されたとの情報があり利用することになりました。

釣りは、市場前で竿をだしていたら地元の人防波堤の先端が釣れるよと教えてくれました。移動して釣り始めたら女性部の竿にアタリがあり、カレイ・アイナメと上がってきました。魚はオスばかりと笑っていたら次々と釣れるではないか。深く針を飲まれ、魚の針はずしや青イメソのエサ付け等、にわかには忙しくなっていました。

7月は、大船渡方面への釣行を計画しました。その日の宿は碓石海岸の海楽荘、盛岡を出発するころは曇りでしたが、雨になりお天気祭りも効果がなく、強い雨で土砂崩れが発生し帰りは迂回路を通って無事に盛岡に着きました。あいにくの釣りはできませんでしたが、民宿で美味しいご馳走を頂き、また被災地の現状を目の当たりにし、一日も早い復興をお祈りし、帰ってきました。

(5)版画サークル

サークルが発足してから20年になる。会員は、9名で4月～12月の第2月曜日と第4月

曜日を定例会として退職者サロンで実施している。主要な行事としては、OB余技作品展への出展と歳末に年賀状を版画で作成する事である。総会は、毎年新年会を兼ね例年「鈴禅」で行い、議事終了後に年賀状について及川先生から批評と指導を頂いている。

(6)麻雀同好会

「平成25年度総合優勝決定！」今年度最終の例会が市内大通りの雀荘で開催された。昨年度より設けた年度優勝制度を決定する最期の一番である。第3回までの合計得点では当会の顧問であるベテランY・S氏が一人1000点を越え優勝候補の筆頭であったが、800～900点台も3人おり、勝負はゲタを履くまで分からない状況でプレイが開始された。結果は、村上光夫さんが今回優勝で525点の加算、佐々木孝さんが優勝で641点の加算となり、村上光夫さんが逆転で年度優勝！佐々木孝さんが準優勝を飾り、6月に実施予定の同好会の総会で表彰することとしている。

我が同好会は、今回の開催が第85回目となり、年4回の例会であることから、有に20年を越えて脈々と活動を続けている。現在の会員数は38名と徐々にではあるが会員も増加の傾向にある。反面、盛岡電友会の全体の傾向

と同様に、高齢の会員には体調を崩されている方も散見され、例会に参加できない現状の会員も何人か出てきている。同好会の維持発展、そして活動の活発化のため、会員相互が新会員加入に向けOBの皆さんに声かけを行っているところである。

電友会会員の皆さん、NNT・OBの皆さん、現代は認知症が全国で150万人を超え今後増加の一途を辿ると言われております。麻雀はそれを予防する一つの方策でもあります。最近では、老人介護施設でもリハビリを兼ねて取り込んでいるところが増えていくようです。会員相互の懇親を図りながら気楽に楽しめる麻雀同好会に入会して一緒に楽しんでみませんか。

(7)さんぽ(山歩)の会

25年度は、4月22日に総会を開き、5月に鞍掛山、6月が兜明神岳・岩神山のハイキングと山菜取りを実施した。7月秋田駒ヶ岳は天気が悪く中止になった。8月は姫神山、9月は三ツ石山に登った。10月は岩手と青森の県境にある階上(はしかみ)岳登山を企画して9合目までバスで行き、ガスの中を頂上へと往復した。

また、三陸海岸一泊ツアーも企画し田野畑村の羅賀荘ホテルに一泊する。ここは、あの

震災で3階まで津波に被災したが、立派に復興していた。翌日は、観光ホテルで宮古市田老の津波の傷跡も生々しい津波が襲うすさまじい映像を見ながらガイドさんの説明を受ける。防災意識としてすっかり刻みこむことができたツアーでした。

11月、盛岡市内の朝島山に登り、登山口の観光りんご園で安くて美味しいりんごを買って帰る。

これからも楽しい山歩きができるよう無理をしない安全な登山をしたいと考えています。普段の「さんぽ」を欠かさず体力を維持したものです。

(8)自然探勝コマクサ会

会の目的は山野に出て自然に親しむことにより健康の増進を図ることや写真や版画等の題材を見つける事にあるので、会員の体力に合わせた行事を企画するようにしています。平成25年度は次の行事を行いました。

①シーズン始めの打ち合わせ

市内飲食店で26名参加

②お花見 青森三戸城 17名参加

③つつじ鑑賞 室根山 19名参加

④納涼会と下期の行事打ち合わせ

市内飲食店 22名参加

⑤被災地復興支援ツアー

宿泊等条件が整わず中止

⑥総会及び忘年会 19名参加

(今年から市内で・次年度の計画)

ハイキング等で歩行が困難な会員が多くなってきたため、マイクロバス等での企画が必要となってきたが、参加者が15名以上ないと貸切バスの利用が難しいので行事の計画が限定されてきています。

(9)音楽を語り合う会

「美味しいケーキを前にしてコーヒーを飲み気楽な気分音楽を聴きませんか」というて発足した愛音会です。

聴いている半分以上は「歌劇」「ミュージカル」「バレエ」等舞台物です。また、音楽といってもニューイヤークンサート、ジルヴェスターコンサート、野外コンサート等「語り」の入ったものが殆んどで肩のこらない、オシャレリのできる音楽となっています。どうぞ気が向いたら聞きにきてください。毎月第2、第3金曜日の午後1時半から2時間です。

(10)インターネットを楽しむ会

・定例活動

(1)パソコン教室の開催

①入門コース

②自由課題コース

③カレンダーの作成・年賀状の作成等

④デジタル写真の修正・アルバム作成

⑤クラウドコンピュータの活用

⑥EXCELの活用

⑦パソコンのメンテナンス

(2)ホームページの維持・管理

毎月上旬、編集・企画委員会によりHP

NTT岩手OBネットの更新

・定例外活動

(1)「インターネットを楽しむ会」の会員の拡大
会員増3名、減1名で会員現在数46名

(2)会員のPCの買い替え及びそれに伴う設定の指導・アドバイスの実施
パソコンに詳しい方々を中心にPCを買い替えた会員に設定指導・その他ソフトのインストール等またPCの環境の整備の相談にのっております。

(3)ドコモよりのPCの寄贈(21台)
電友会室に6台設置しておりますので皆さん自由に使用してください。
(PCの内容 OS..XP..Office..ワード、エクセル2010)

(4)25年度恒例の懇親会 参加者63名

毎月月末に開催しています。各自のPCの問題点を出し合い、解決策のアドバイスをす

るなどお互い助け合っています。PCの起動が遅いとか、EXCEL2010の操作に戸惑うとか、ソフトのインストール方法とか、和気あいあいの内に懇親会が終了します。この様な会です。立ち寄ってみてください。

◆花巻電友会

◎心癒された仙台・松島への日帰りレク

6月14日、花巻電友会(イーハトーヴ電電)と退職者の会共催による「日帰りレク」に、34名の会員が参加し草木と親しみ、風光明媚な地を楽しみました。

一行が最初に向かった地は、杜の都仙台の「仙台野草園」。アヤマやアジサイなどの花が暖かく迎えてくれました。

ここには、東北地方の平地・丘陵・山地・海岸・水辺に咲くさまざまな山野草が植栽されておりました。



松島海岸にての一行様

山野草に詳しい会員達は次々に「あつ、これクマガイソウよ」「これはカタクリね」等々盛んにガイドに努めるなど、足下で身近に観られる草木と親しんで

おりました。

ひと時、数え切れぬほど様々な山野草に触れ知識を深めた会員達が次に訪れたのは、「ああ松島や松島や」と詠われた「日本三景松島海岸」。

五大堂や島々の岩盤にガツチリと根はり付く松。そしてその美しさ。人々の心を癒す原風景に会員達は「さすがは日本三景」と改めて松島の景観を眺め讚え合いました。

そして鎌倉時代、名高い石工がこぞつて磨崖仏を刻んだと云われている瑞巖寺参道。崖面に刻み込まれた磨崖仏や石仏。岩肌が放つ年月の吐息が、ふと現実を忘れさせてくれる昔日の壮麗な姿を見せていました。

久しぶりに松島を訪れた会員は「あの瑞巖寺の磨崖仏を石工はどんな思いで刻んだのだろうか」などと悠久の歴史に思いを巡らせる会員や「あの震災の後遺症は無かったのかな、しかし松島はいつ観てもいいね」等々、満足顔。笑顔ほころぶ仙台、松島への旅でした。

◎猛暑の中を颯爽と

イーハトーヴの里でウォーキング

今年も益明けの8月18日、第16回いわて花巻イーハトーヴの里ツアーデーマーチに13名が参加し、いい汗を流しました。

当大会への参加は今年で6回目。一昨年も

歩いた「美しい日本の歩きたくなる道500選」として知られる「賢治の生家と詩碑を歩こうコース」11キロに再び挑戦。

全国から集まったウォーカー達と一緒に、各人氏名入りのゼッケンを背負い、炎天下をもちもせず宮沢賢治生誕の地、産湯を浸かったと云われ現在も残る井戸、「雨にも負けず」の詩碑が建つ桜町の丘、そして賢治が教鞭をとっていた花巻農学校跡地「ぎんどう公園」など約2時間半のウォーキング。

真夏の太陽が容赦なく照りつける中、しかし会員達は心得たもの、しっかり水分・塩分を携帯・補給。熱中症などなんのその、自然との触れ合いを満喫しながらイーハトーヴの里「遊歩理想郷」で快汗。健やかに遊歩し涼やかな顔して全員無事大会役員から完歩証を受け取りました。



スタート前の元気な皆さん

そして诗情豊かな賢治ゆかりの地を遊歩した会員達を待っていたのは、恒例の冷たい「麦茶」と名物花巻グルメ「白金豚汁」。丁度暑しい汗をかいた後の豚汁と持参のおにぎりや弁当の味は「うめーなあー」の一言。アツアツの豚汁をフウー、フウー言いながら更なる

汗をかいている会員もおりました。

◎岩手県南ブロック文化講演会

花巻祭り観賞と合わせて開催

平成25年9月14日、岩手県南ブロック(一関・水沢・北上・花巻)の文化講演会(交流会)を花巻市の「ホテル花城」において会員76名が参加し開催しました。

この講演会は毎年4ブロック持ち回りで開催しており、今年には花巻が主幹で開催。

開催当日は、丁度「花巻まつり」の中日で花巻の会員の中には花巻祭りの運営に携わっている方が沢山おり、またこの花巻祭りに合わせて里帰りされる叔父さん、叔母さん、息子さん、娘さん、或はお孫さんが祭りに参加される為、当日の講演会に出席できないと云う方が沢山いるとは聞き及んでおりました。その為、開催日を決定するに当たっては、その準備、或は出席者の減少等、色々懸念・心配したところでしたが、一関、水沢、北上の皆様へ、ぜひ花巻祭りを観て戴きたいとの思いから、あえて花巻祭りの最中を開催日としました。

講演会は、瀬川隆子花巻電友会副会長の司会のもと、主幹ブロックを代表し神山佑治花巻電友会会長から歓迎の挨拶の後、講師に花巻市博物館上席副主幹の酒井宗孝氏を招き

「花巻まつりの由来について」と題し講演をいただきました。

講演は、花巻開町の祖と云われる「北松斎」と花巻祭りの始まり、京都祇園祭りの山鉾風流山車と、例年140基をも出張る樽神輿と子供神輿。祇園囃子調の優雅な演奏、宮沢賢治と花巻祭り等、約1時間に渡り講演をいただきました。



講演者の酒井宗孝氏

講演を聞いた会員の皆さんは「改めて花巻の歴史、花巻祭りの由来を知りました」また「この講演を聞いた後での花巻祭りを観るのが楽しみだね」等々語っておりました。

さて、講演会後はお待ちかね、県南4ブロック会員相互の親睦を深め合う交流会、宴の始まり。

まず幕開けのスタートは、岩手県内で屈指のステージマジシャンと評判の菅原修さんによるマジックショーで会場を大いに沸かせた後、斎藤力夫さん、市川牧子さんの軽妙な司会で、4ブロック競演の踊り、合唱、カラオケ等々で会場は大いに盛り上がりました。

会場内の各テーブルは、久しぶりの再会に握手し合う会員達や旧友の元気な姿を見い出

し、互いの健康を喜び合い、近況を語り合う会員達など会場内は終始和気藹々。また演技者への惜しみない拍手喝采が起きるなど会場は熱気に包まれ、時間が足りないほどの盛況でしたが、当日は花巻祭りの中日、山車の連合パレードや神輿をぜひ他ブロックの皆さんに観て戴きたいとの思いから、名残り惜しくも午後6時、次回開催ブロックいちのせき電友会佐々木行志事務局長のお開きの挨拶で交流会の幕を閉じました。

交流会閉会后、会員の皆さんは早速お祭り広場へと繰り出しました。その数人に祭りを観た感触・感想を尋ねると「花巻祭り初めて観たけどスゲーな!」とか「すごい人波みだね。何処からこんな人が湧いてきたんだ?」また「山車も然ることながら神輿がこんなに多く出る祭りとは思って無かったよ」とか「祭りの賑わいは予想以上だね。また露店の屋台の数の多いのにも驚いたよ」等々、祭りの熱気でむせ返る人波をかき分け、押されながら祭りを観賞し楽しんだ岩手県南ブロック講演会(交流会)でした。

◎大河ドラマ八重の桜で賑わう会津への旅

10月21日と22日、花巻電友会サークル「イーハトーブ電電」と退職者の会共催による1泊2日、今年も秋色に染まる会津路の旅を楽

しました。

一行19名がまず目指したのはNHK大河ドラマで賑わう会津若松市。バスは東北自動車道、磐越道を乗継ぎ、4時間の長工程でしたが、バスガイドの軽妙にして絶妙なガイド、巧みな話術に魅了され会員達は長旅の苦痛など感じないうちに最初の目的地、近世松平23万石の城下町として栄えた会津若松市へ到着しました。

到着は丁度昼時、まずは腹ごしらえ。そして早速、戊辰戦争で1カ月の激しい攻防戦に耐え、難攻不落の名城として知られ、平成23年3月には天守閣の屋根が赤瓦に葺き替えられて幕末当時の姿によみがえった「鶴ヶ城」へ向かいました。

大河ドラマの好人気の現れか、鶴ヶ城公園は大勢の観光客で賑わっております。

鶴ヶ城をバックに記念写真や天守閣への登楼、或いは公園内を思い思いに散策した後は専属のガイドさんに導かれ、ハンサムウーマン八重と会津博「大河ドラマ館」を見学しました。

次に訪れたのは白虎隊自刃の地、飯盛山の



鶴ヶ城前のご一行様

ふもとにある「白虎隊記念館」へ。ここでは戊辰戦争の資料12,000点余りの展示を見学し会津地方の歴史の一端に触れ学びました。

そして夕暮れ時、当日の宿泊地、山ふところに抱かれた会津若松市の奥座敷、湯の街名湯東山温泉「東山グランドホテル」へ。

自家源泉掛け流しで旅の疲れを癒した後は旅のもう一つの楽しみ、ご当地グルメで舌鼓。四方を山で囲まれた会津若松ならではの山菜料理や、会津の自然熟成みそに味付けられた各種郷土料理と、端麗にして芳醇な味わいの地酒「栄川」や「花春」など、たっぷり味わいました。

さて翌日、前夜の雨が嘘の様に晴れ渡り白雲がゆっくり流れゆく秋晴れの元、バスは国道121号線を折れ、秋の風物詩、街道沿いに収穫間近と思われる「身知らず柿」がたわわに実る会津西街道(旧北国下街道)をひた走り、旧街道時代の面影を色濃く残し街道に面し藁ぶき屋根の古民家が軒を連ね情緒漂う町並みの大内宿へ。

ここも大勢の観光客で賑わい、会員達は名物ネギうどんの試食や、古民家のお土産品売場で手一杯の買い物をしておりました。そしてこの旅最後の目的地、全長200m

に渡り断崖絶壁、奇岩怪石が続く河食地形の特異例として国の天然記念物に指定されている溪谷「塔のへつり」へ。

揺れるつり橋を「おっかなびつくり」で渡り対岸へと進み、そこで観る群青色の水と迫力ある断崖絶壁、奇岩怪石の絶景に会員達は盛んにカメラのシャッターを切っております。

◎今年も大いに賑わった退職者交流会

11月22日、平成25年度花巻地区N.T.T退職者交流会を市内花巻南温泉峡「渡り温泉ホテルかえで」において57名が出席し開催しました。

交流会は田村秀夫総合司会のもと、神山佑治実行委員長の挨拶、佐々木ツカさんによる乾杯発声の後、来賓としてお招きしたN.T.T岩手支店の藤原和仁総務担当課長及び岡本秀樹営業推進担当課長から祝辞と自己紹介をいただきました。



交流会で踊るでんでんひめの会

その後はお楽しみ、恒例の宴の始まり。市川牧子さんと佐々木克政君の若手コンビの司会で、ビンゴゲームを楽しんだ後、及川和夫君のヤクザ踊

り、でんでんひめの会メンバー(佐々木蝶子

さん、小川枝實子さん、中嶋雅子さん、市川

和子さん)による手踊り、斎藤力夫君の怪し

げな女性?に扮しての歌とダンス。そして安

藤孝子さん、都鳥ミヨさん、北島敏明君、及

川和夫君、都鳥良美君、細矢弘司君、山本峯

可君、田村秀夫君、小瀬川正良君、更にお客

様の藤原総務担当課長、岡本営業推進担当課

長等々によるカラオケが次々と続き、予定時

間ギリギリまで例年にも増して大いに盛り上

がり、最後は渡辺軍治実行副委員長によるお

開きの挨拶で宴の幕を閉じました。

◎受賞おめでとございます。

佐藤栄市さん 中嶋範和さん

平成25年11月16日、花巻市文化会館大ホー

ルで開催された第4回花巻市社会福祉大会に

おいて花巻電友会会員佐藤栄市さんが表彰、

中嶋範和さんに感謝状が大会会長から贈られ

ました。

佐藤さんは、多年に亘り社会福祉団体役員

として障害者福祉の向上に寄与された功績と

して表彰(奥様が代理受賞)されました。

ちなみに佐藤さんは、身体障害者協議団体

の相談員として活動され、また花巻市中央老

人クラブ会長を永年努めておられました。し

かし残念なことに、約1月余り前の9月25日

に永眠なされました。

また中嶋さんは、長年に渡り共同募金活動

に率先して協力し顕著な功績を上げられたと

し、感謝状が贈られました。

中嶋さんは現在、大通り行政区の区長とし

て、3期6年を努めておられます。

お二方、受賞、誠におめでとございまし

た。

なお、昨年の第3

回花巻市社会福祉大

会には、花巻電友会

サークル「でんでん

ひめの会」が「広く

社会に顕彰するもの」

として大会会長から感謝状が授与されてお

ます。

◎新春の空へ大法螺話をぶっ放せ!

新年の集いで講演会

平成26年1月21日、今年も恒例の新年の集

いと新春講演会を市内「ホテル花城」で60名

が参加し開催しました。

講演会に先立ち、山本峯可退職者の会事務

局長から講師の紹介があり早速、新春講演会

の始まり。

講師に佐藤一敏氏(元琉球大学講師)をお

招きし「新春の空へ大法螺話をぶっ放せ!」

とユニークな演題で海面に造林する話しをし

ていたいただきました。

佐藤講師は琉球大学で長らく海上林造成に

関するご研究をなされておられた方で、海岸

林と海上林の違いや「植栽基盤(サンゴ礁と

浅瀬、人工浮体構造物等)さえ出来れば、ま

んざら法螺話ではない」と話され、マングロー

プ(海水に浸って生える植物木林を総じてマ

ングロープといい、木の名前ではない)で岩

礁や筏上での試験、サンゴに根を植生させる

試みなどを紹介されました。

この研究が軌道に乗り成功すれば大気環境

保全、海上林の機能(酸素の放出)、材積増加

エネルギー源に繋がりが、今後の研究成果が期

待されるお話でした。

そして「何とか成功したいと思っているが

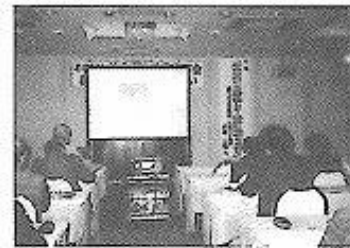
まだまだ法螺話の類である」と話されました

が、先生のお話を伺うと、まんざら法螺話で

はなく、実現可能な話に思われました。

講演会の後は渡辺軍

治退職者の会会長から



講演会会場模様

長、木村幸弘岩手県議会議員からのお祝いのご挨拶を戴き、いよいよ新年交賀会本番。葛岡勝次さんの元気な乾杯発声で宴の開演。

宴は高橋長一君の初の司会と、もうペテラとなった市川牧子さん、佐々木克政君のトリプル司会で賑やかに歌に踊りが繰り広げられ、今年の新春交賀会も楽しく盃が酌み交わされ新春を祝い合いました。

◎パークゴルフサークル

・熱戦と舌戦の第11回パークG競技会

4月以降6回の例会を経て、腕を撫して臨んだ今年第1回競技会。8月25日は絶好のゴルフ日和。会員18名は、今日こそはと勇んで奥州市の「さくらの湯パークゴルフ場」へ参集。早速、4月以降の練習成果を発揮。例によつて舌戦と熱戦が繰り広げられました。

今年第1回の競技会とあつて皆さん力が入り一球一打に善戦、奮戦、熱戦、激戦。更に舌戦も加わり賑やかなゲーム展開。



第3位までの入賞者の皆さん

調子の良い人悪い人、悲喜こもこも。結果、第11回競技会を征したのは男性の部で神山佑治君が通算6勝をマーク。女性の部は久方振りに豊

山れい子さんが優勝トロフィーを抱きました。第11回競技会結果は次の通り。

男性の部

優勝 神山 佑治 準優勝 外館 祐輔

女性の部

優勝 豊山れい子 準優勝 柳原 市子

・僅差のゲーム展開第12回パークG競技会

11月2日、例会・競技会を含め今シーズンの最終戦とあつて会員18名は8時30分にJR

花巻駅西口に勇んで参集。そこにはパークG会場の送迎バスが待ち構えており、早速バス

に乗り込み出発。バスは約40分後、奥州市の「さくらの湯パークゴルフ会場」へ到着。皆

さん気合い十分で早速36ホールに挑みました。サークル結成6年目、実力を付けた者同士

予想通り僅差のゲーム展開。

そして激戦の末、今年のファイナルゲームを征したのは、男性の部では進境著しい佐藤

建夫君が同じハンデキャップを背負う神山佑治君を2パット差で振り切り、競技会通算4

勝を上げました。女性の部は、常に上位入賞を果たしてきた

高橋孝子さんが、堂々、通算5回目の優勝トロフィー手にしました。

第12回競技会結果は次の通り

男性の部

優勝 佐藤 建夫 準優勝 神山 佑治
女性の部

優勝 高橋 孝子 準優勝 馬場シン子



各入賞者の皆さん

舌戦を繰り広げました。第12回競技会を戦い終えた会員達は胆沢温泉「さくらの湯」で激戦の汗を流したのち、

同温泉大広間で今年度のクラブ納めを行いました。納会は、藤尾英夫運営委員から第12回競技会の成績発表と、外館祐輔サークル副会長から、男女各優勝者にトロフィーと副賞を、準優勝者、第3位、ラッキーセブン賞、ホールインワン賞、当月賞、BB賞等の各賞者へ賞品授与が行われました。

そして恒例の懇親会。湯上り後の冷たいビールが喉を潤し、時が経る毎に会員達の舌

は大いに滑らかになっていきました。「まだまだハンデは甘いな、以前は優勝者

にハンデ3、準優勝者には2、第3位者に1

のハンデであったが、一昨年から7・5・3のハンデに上げたけど、それでも上位陣は変わらない。もっと上げてよいのではないかと云えば「いやいや、皆んな腕が上り、実力伯仲している。これ以上ハンデ差を付ければ全ホールバーディ以上で廻らなきゃなんね、これはちよっときつ過ぎるよ」と反論。また「ハンデなんか問題でねえ、親睦サークルなんだから楽しくやれば良いんだ」「んだ、日頃の運動不足を少しでも解消でき、楽しくゲームが出来ればそれでいいんだ」等々賑やかに意見交換しておりました。

また「年々参加者が少なく、出てくる人も固定化してきた。もっと会員を増やす工夫をするべきだ」とか「毎回同じ会場でなく、たまにはどこかに遠征してやろうよ」とか「宮城とか青森のサークルとの交流会をやりたいね」等々、今シーズン終了を惜しみつつ来シーズンに向けての期待・意気込み、豊富等々和やかに、そして賑やかに語り合った納会模様でした。

・26年度のシーズン到来を前にパークG総会を開く

花巻電友会パークゴルフサークルの第7回総会を4月5日、18名の会員が出席し開催しました。

総会は外館副会長の挨拶の後、議長に田村秀夫君を選出し、25年度の活動状況報告や26年度の活動計画を審議し、原案通り可決されました。

また総会には、この度「水沢地区電友の会」でもパークゴルフサークルを結成したとのことで同会の及川好夫さんと長澤公介さんが特別参加され、近く交流会を行い親睦を図ることを約しました。

なお、今年度は役員改選の時期とあつて次の方々が改選されました。

新任

会長 外館 祐輔 副会長 高橋 一朗

幹事 佐藤 建夫

退任

会長 中嶋 範和 副会長 外館 祐輔

幹事 藤尾 英夫

・さあ春が来たパークGシーズン到来だ

長い冬がようやく終わり芝生も芽生え、いよいよ待ちに待ったシーズン到来。好天の4月26日、会員16名が奥州市さくらの湯パークゴルフ場へ馳せ参じ初プレーを楽しみました。

今年第1回目の例会。会員達には約6カ月振りでの芝生。好天の日和の中、早速クラブを持ち、スイングやグリーンの感触を確かめておりました。

会員達は久しぶりにクラブを握ったにも関わらず「今年初めてにしては調子エガッタじゃー」と喜ぶ会員や、「俺、さっぱり駄目だったじゃー」とこぼす会員。「そんな天気の良い日、芝生の上を歩くのはやっぱり気持ちエエなあー」などと、それぞれ思いがこもった今年第1回例会模様でした。



初プレーを楽しんだ皆さん

◆釜石地区電友会

◎電友会4地区合同文化公演会開催

退職者OBの私達は、年々それぞれ差はあつても何かしら、病院とのおつき合いがあるとあります。毎日元気で生活する事を願い、健康管理を考えていることでしょう。

そこで、今回のテーマは、「健康とお薬」——サプリメントの上手な利用——と題し、講師には、岩手県薬剤師協会理事の中田義仁氏にお願いしました。

10月3日、釜石市、マリンホテルを会場に宮古、釜石、遠野、大船渡の会員62名の参加でした。講演のあと、中田先生への質問時間

となり、日常使っているサプリメント等について会員の皆さんから沢山の質問があり、やはり元気でいたいと思う気持ちには同様のようです。なかには、とてもユニークな質問などもあり、笑いの中での講演だったと思います。



文化講演会模様

その後は癒しの時間
民話の里、遠野さんの
友情出演? 語りべの会
員3名の楽しいお話の
ひとときを過ごし、楽

しく解散となりました。

◎ひな祭り「茶話会」開催

3月3日は恒例のおひな様、1週間前には幹事数名で飾り付けをし、当日、果物等ごちそう(?)も揃え、主菓子・お抹茶などでみんな笑顔笑顔!!

勿論、おしゃべりも盛んに、1年ぶりの段飾りのおひな様を前に賑やかな1日でした。少々、寂しかったことは、毎年、サービスセ



1年振り、笑顔のひな祭り

ンターの現役の人たちも招待していたのですが、昨年7月で解散となり残念なことでした。

◎刺しゅう糸できれいな布きん作り

OBルームに於て、10年来、施設に贈っている活動のひとつ、年末の募金に加え、カラフルな刺しゅう糸できれいに布きんを作り施設の皆さんにプレゼントにしようと、少しずつ針を進めています。

◆遠野地区電友会

◎永年役員をかこむ会開催

退職者の会会長 菊池清志

私も退職して早いもので8年を経過しました。充実した日々であったかと言えばそうとは言いきれず、テンポの早さを感じる今日この頃です。私達の地域では電友会会員数47名退職者の会38名です。会員数では電友会の方が上回っており女性の方が多い現状にあります。そんな中で女性の方が主体的に活動され毎週水曜日にはOBルームを利用して趣芸をはじめとした作品作りをしながら団らんの一時を過ごしている状況にあります。昨年の12月4日に開催した「永年役員をかこむ会」には29名の参加のもと盛大に行われました。今回の主賓の3名の方達は15年以上の役員経験をもち、これまでのそのご苦勞に感謝し、今後の益々のご健勝を祈念するものでした。

師走月を吹きとばす盛り上がりで終える事ができました。最近の傾向としてイベントある都度に参加者が減りつつあります。今回の多数の参加状況の結果から見えます事は女性の方達の一声よびかける事が大きな効果があったように思います。余興の部の事です。女性の方達による大相撲力士の出立ちで登場して来た時それを真の当りに見た私は「どこかで見覚えのある姿だなあ」と一人言のようには言いました。それを耳にした田代さんが「覚えあるでしょう」と言って差し出した一枚の写真に何と自分自身が入っているではありませんか。それはそれは若かった頃の写真でもあり、20年前も前の事であり驚きとなつかしさで一杯でした。世間一般に言われている少子高齢化は私達のOB会にあっては同様です。昨年の2名今年も2名の新加入の方達に恵まれ今後の活躍に期待している所です。



永年役員をかこむ会 記念撮影

◎新会員の歓迎会

常川芳夫氏、小林伸一氏のお2人を新会員として迎える事となり、会に活力を持たらす

ものであり、役員一同心からの喜びとなりました。早速、歓迎会を5月11日に行う事として退職者の会と活動を共有している事も有り一緒に企画しました。第2の人生の激励と加入を盛大に祝うために、電友会の枠を超えてやろうと言う事になり、地区外の元同僚および地元在住の現職社員も出席していただくなど現退一致の歓迎会となりました。

花束贈呈の後、お2人からは会の活動に力を尽くす旨の挨拶をいただき皆心強く思った所です。話しも尽きず2次会へと流れたエネルギーは現職を彷彿とさせるものがあつたと思います。親睦が基本とは言え、会話の中で1人1人の力は小さくとも出来る限り若い世代へ残すべき社会とは何かを考えて行動したいものだとして改めて考える機会ともなりました。



新会員の歓迎会

◎暑気払い
梅雨明けもしていない7月末日、恒例の暑気払いが実施されました。年に一度はやっぱりジョッキで生ビールを飲まないで夏が来た気がしないのです。退職してからは、夜の街に繰り出す機会が少ないので皆さん楽しみに

しているようです。折角、多勢の仲間が集まったのでインタビュー形式で掲載することにしました。
N氏「年代を越えて集まるので毎年楽しみ」
O氏「酔いつぶれる程、飲んだので満足！」
K氏「お酒を飲める人が羨ましい」
Y氏「昨年迄、体調が悪かったけど飲めるようになって嬉しい」

C氏「元気で飲めるのがいちばんです」
T氏「近況報告あり、お互いの健康を確認したり、ホロ酔い加減で盛り上がりました」
M氏「退職して何十年経っても、集まれば入社当時の初恋の話が出たり、やっぱり、仲間は宝物です」
G氏「仲間の元気なお顔を拝見する事が何よりです」

O氏の発言は、勿論、2次会迄行つてのことのようですが来年の夏も又、元気で生ビールを飲めるよう体調管理に努めましょう。



OBルームにて暑気払い

◆おおふなと電友会

◎総会開催

4月24日オーシャンビュー丸森で、今年の総会が開催されました。

会員の参加者数は32名、お客様としてNTT東日本岩手の県南営業支店長及川様はじめ田端様、鈴木様のご臨席をえて始まりました。始めに、岩城会長から「忙しい中、総会に出席してくれて有難う御座います、3月3日に雛祭りを開催しましたが、皆さんから称賛を頂きました、行事に参加して、日常生活に潤いを得て欲しい」。

来賓を代表してNTTの及川支店長から「日頃OBの皆さんにご支援頂きました、岩手の動向は光ファイバーの競争が激しい中、昨年秋季に18万の販売が出来ました、皆さんのご協力のおかげです、引き続き支援を」と挨拶を頂きました。

議長に近江守さんを選出し昨年度の経過報告、今年度の方針が決定しました。方針の一例をお知らせします。

今年度は沿岸地区文化講演会が大船渡で開催されます、宮古、釜石、遠野からも来ます、「介護関係の講演を」というテーマを考えて



総会 記念撮影

います。

また、退職者の会主催ですが、今年は一泊旅行の年ですので多数のご参加を!!

懇親会では、及川文行さんの司会で始まり懐かしい顔、懐かしい話など、歌に踊りにと楽しく開催され、次回の交流会での再会を期して中締めとしました。

参加者の皆さん有難う御座いました。

◎サークル活動

(1)大船渡グラウンドゴルフ同好会

今年度(26年度)のグラウンドゴルフ同好会例会は2月21日に開催され、総会で3月から11月まで9回開催することに決定しました。今年度は災難続きで、3月7日に第1回の例会を予定しましたが、寒波で中止になり、4月4日の第2回の例会はチリ沖の地震の関係で津波注意報が出て町民には避難勧告も出て津波注意報が解除になったのが翌日の午後六時に解除になり、当然前日の夜に例会中止を連絡したところです。

そして、5月2日の第3回の例会は雨降り中止になり今年度はまだ一回も活動がないので祈るばかりです。今回は昨年10月23日に開催されたNTT記念日大会模様と、今年2月21日に開催された総会開催模様を報告します。

平成25年10月23日第11回NTT記念日大会

が14名の参加で開催されました。始まる前に前年度優勝者の平山正人さんより優勝カップの返還があり、そして全員で記念撮影をしてから競技を開始しました。

8ホール3回の24ホールで始まり、終了後の成績は25年度の例会に初めて参加した佐々木勇さんが見事64打、ホールインワン1回で優勝カップを手に入れました。そして2位以下の皆さんにも参加賞とそれぞれの賞品が渡され楽しいひと時を過ごしました。



見事優勝した佐々木勇さん

2月21日に17名が出席して開催された総会模様をお知らせします。午前11時30分から大船渡の活魚すこうで開催され、会長挨拶の後、年間成績発表と表彰が行われ大坂英機さんが、初の年間優賞者になりました。表彰式の後、例会開催日を決め、役員改選期でもあり長年会長であった岩城恭治さんが退任され、及川彌さんに交代しました。その後昼食を取りながら今までの思い出話や今後の予定などを確認しながら午後1時頃に終了しました。

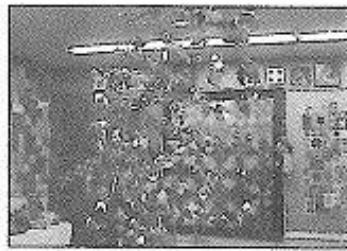
(2)パッチワークサークル お針箱

長年親しんできたNTTが被災し、もちろんOB室も使えなくなり、先行き暗くなる中、皆で集まり、パッチワークをやりたいと云う気持ちがあり、市民文化会館等をお借りし活動してきました。そんな中、3年に一度開いてきた展示会をどうするか迷った挙句開催することになりました。

会員も震災でなくなった方や、病気でなくなった方等減少する中、作品が集まるか心配しながらも「一人5点以上だよ」と発破をかけられながら?昨年の8月31日~9月1日の2日間開催することが出来ました。

作品はそれぞれ自由な発想で個性的な作品大小様々で思った以上に集まり、又残暑厳しい中でしたが入場者は280名もあり、皆さんに喜んでいただけたいと思います。

現在は昨年の九月から会社の一室をOB室として使わせて頂いております。古巣に帰った気分楽しく活動しております。感謝しております。本当にありがとうございます。とうござります。



作品創りに動んでいます

今は2年後に控えた第5回展示会に向けて毎週月曜日に集まり相変わらず口と手を忙しく動かしながら作品創

りに励んでいます。

一つ残念なのは会員が増えないことです。針仕事の好きな方始めてみませんか。

◆水沢地区電電友の会

◎日帰り旅行

水沢地区電電友の会ではこれまで一泊旅行と日帰り旅行を交互に実施していましたが、できるだけ多くの会員に気軽に参加していただけから25年度から日帰り旅行に統一しました。1回目の昨年は31名が参加して世界遺産の平泉文化遺産センターを見学し850年前に栄えた奥州藤原氏の浄土思想に想いを馳せました。



日帰り旅行参加のご一行

そのあと一関市厳美町の「矢びつ温泉瑞泉閣」で懇親会を行いました。懇親会は女性会員の参加が11名と多かったこともあり歌や踊りに大いに盛り上がりしました。

◎ざつつあかまつりへ参加

NTT東日本奥南グループでは「企業もまた地域社会の一員である」という精神のもと社会活動に積極的に取り組んでいます。

今年も8月3日に「第38回水沢ざつつあかまつり」が開催され、NTT奥南グループを挙げて参加しました。参加者はグループ企業等合わせて総勢80名で私たちOBは11名の参加でした。NTT岩手支店からは大型バスで加藤支店長はじめ若手社員が応援にかけつけるなど奥南グループの粋を超えてNTTグループとして水沢夏祭りを大いに盛り上げました。



今年も大いに盛り上がりました

◎電信電話記念日行事を祝う会開催

平成25年10月23日正午から奥州市水沢区のホテルで来賓4名、会員30名、合わせて34名出席して第12回電信電話記念日を祝う会を開催しました。



電電記念日祝賀会

祝う会は来賓のNTT東日本奥南営業支店長の葛西政志様から国内候補地が岩手県の北上山地に決定した「ILCの概要」と「最近のNTTの事業概要」についてご講演をいただき、事業の厳しさと今後の展望について認識を新たにしました。

した。

祝賀会は会員の小林忠義さんの乾杯が始まり、久しぶりの再会で話に花が咲き時間のたつのも忘れて盛り上がり、再会を記念して散会しました。

◎平成25年度総会開催

平成25年12月6日に奥州市水沢区のホテルで電友会水沢地区電電友の会並びにNTT労組退職者の会水沢地区協議会の平成25年度総会を会員73名が参加して開催しました。

総会では物故者に黙とうをささげた後、議長に吉田一郎さんを選出し議事に臨みました。議事は電電友の会及び退職者の会とも出席者の熱心な議論のうちに進行し議案すべてが満場一致で承認されました。また19名の会員に米寿、喜寿、古希、及び金婚のお祝いと6名の会員に役員永年表彰を行いました。



総会後の交流懇親会

総会の後、来賓3名、会員48名が出席して恒例のNTT-OB交流懇親会を開催しました。多くの会員が交流懇親会を楽しみにしており、この日も久しぶりの再会に大いに話に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことができました。

◎サークル活動

(1) グラウンドゴルフ同好会

グラウンドゴルフ同好会は23名の会員が4月から11月まで毎週木曜日に練習日を設定し年間34回練習を行いました。主な大会としてN.T.T・OBグラウンドゴルフ岩手県大会など4つの大会に参加して練習成果を存分に発揮しており、生涯スポーツとして熱心に取り組んでいます。

(2) 花を楽しむ会

花を楽しむ会は8名の会員がフラワーアレンジメントを中心に活動しています。25年度は開催日が3回と回数こそ少なかったもののクリスマス用フラワーアレンジメント等季節の花を楽しんでいます。

(3) ITだべり会

ITだべり会は20名の会員がパソコン教室を中心に活動しています。25年度は月2回各月の上旬の火曜日と水曜日に開催し年間20回開催しました。講習内容はWord思い出し講座やWord2010基本&上達テクニック及びメールの応用などが中心です。

ITだべり会は文字通り講習の他にピアガーデンや忘年会など飲んで楽しく「だべって」います。

◆宮古地区電友会

◎定期総会開催

新会長に八木善政氏選任

12月4日師走早々に、他所の忘年会が始まらない内に、と云う事で、宮古市内きつての豪華？ホテル陸中海岸「浄土ヶ浜パークホテル」で、来賓含め46名の出席者により、電友会と退職者の会合同での定期総会が開催されました。今年度は、電友会創立30年、退職者の会15年の年に当たり、今年度の行事の中にかの記念イベントをしようとして話し合われました。年に1度の顔合わせの総会です。

昨年8月1日、電友会の会長小野寺正光氏が突然に亡くなられました。まだ若く全てに精力的に活動し、誠実で温厚な性格は皆に親しまれ、これからの活躍に期待していた方です。本当に驚きました。小野寺さんは電友会の他に映画生協「みや



おいしいね！1年振りの再会

コシネマリーン」の理事長として、映画業界不況の中「宮古に映画で地域おこしを、子供たちに夢を、お年寄りには憩いの場を」と献身的にボランティアとして活動されています。実は私(事務局三浦)も理事として一緒に「宮古から映画館を無くしたくない」と云う思いで、観客が少なく苦しい中、映画生協として発足以来17年になりますがか続けて来ました。特に去年は映画フィルムの時代からデジタルへと変わり、資金集めで苦労の毎日でした。電友会の皆さんにも応援して頂いたこと、ここで感謝いたす次第です。ありがとうございます。僅か5日前には大雨の中、大槌の仮設住宅集会所で行われた震災支援の巡回上映会に小野寺さんの車で「疲れたねえ」等と体力やら集客難やらの話をしながら雨の夜道を走ってきた事を思い出します。あの時、心臓が不調なことを何故か2人共に話していたのですが…。残念です…



年齢？7掛けの面々。50才位かしら…

昨年度は宮古の退職者6名も旅立たれました

た。それぞれの思いで黙祷を捧げました。

今年度は全員、元気でいたいものです。

来賓からの挨拶、ひかりフレッツの販売促進の営業担当者からの依頼があり、議事は異議なしで進行、新入社員の紹介と続き、新しい会長には「八木善政氏」が選任され「宮古は退職者の会と電友会はコラボで、行事等すべて一緒に行っている。今後とも、融和し、楽しい会であるよう努めて行きたい、協力の程ねがいたい」と挨拶されました。

忘年会を兼ねた懇親会はシャンデリアの輝く広い会場で、カラオケや恒例のピンゴゲームで旧交を温めました。今年のピンゴはカラ無し。全員が当選商品を抱えて帰途につきました。ごきげんよう！来年はたくさんの方の参加者で集いましょう！

◎サークル活動

(1) グラウンドゴルフ

新しい会員が増えずに当初20名近くで発足したGGサークルの会員は今では足腰が弱り、多い時で10人足らず。最近では5、6名の時が多くなった。亡くなった会員もいて寂しい限りである。が少し前迄は90をはるかに超えても元気で



やっと入りました！

ホールインワンを飛ばす先輩もいた。「若さは気持ちである！人生7×(掛)である。まだまだ若い！」

市民の憩いの場、散策に絶好の場所でありゲートボールやGGで賑わっていた市内の河川敷公園が、震災の津波で木々や草花を根こそぎ持つて行かれた。あれから3年余、未だ元通りとは云えない。散策の小径は元の土色にはならず、打ち上げられた津波色の灰色だ。でも、昨年は菖蒲やカキツバタが見られた。今年ももうじき咲くだろう。咲いて欲しい！

現在使用しているGG場は郊外の7キロ先にあるラグビー場の片隅を借りて宮古市のGG同好会のメンバーと一緒に、毎週3回誘い合せて車で通っている。早く元の綺麗な芝生の上でパットが振れると良いと思っっている。会員も増えると思う(きつと)。

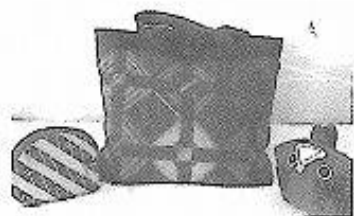
昨春秋に行われたOBの県大会では宮古からは3名が出場し、三上誠さんが堂々の3位を獲得し、「空気清浄機」の副賞を頂き、毎日きれいな空気で過ごしているとか！

今、メンバーたちは電友会30周年のイベントで「GG大会と芋の子汁の会」を企画しているところ。誰が優勝して賞金(品)を買えるのでしょうか。楽しみです。

(2) パッチワークサークル

やっとサロンが使えるようになりました。

東日本大震災から3年余、あの時の余波で堅固なN.T.T.の建物も被害を受けました。サロンも大改修が施され、使用出来ずにいました。パッチのメンバーは、あちこちと場所を変えてサークルを続けて来ました。会員の家だったり地域の公民館の片隅を借りたりして。そうです、3年前の東日本大震災のあの日はパッチワークの日でした。そろそろ帰宅の間と云う時、大きな震れと津波に遭遇したのです。前号でメンバーの1人に書いて頂いた



古布がステキによみがえっている

あの恐ろしい光景を、後輩の先導で5階に避難したメンバーは防波堤を越えて船や家を押し流し、車に乗った人が波にのまれて行く光景を見ていたのです。寒さと余震の恐ろしさに震えながら一夜を過ごしたメンバーです。高台に置いた車も流され、翌日、泥と瓦礫の中を変わり果てた街中をやっとの思いで帰宅したと云う事です。

一時は手芸もする気も失くなったと云う事ですが他のボランティア等で活躍している会員たちは前向きです。続けていたのです。今

新しく整備されたサロンで月2回、お茶やお菓子を共に、思い思いの作品に取り組みます。

また1人強力な会員が増えました。タバストリーや炬燵掛け等大物に取り組んでいて、速くてセンスがよく早くから皆の羨望の的です。その内、みな指導者になってくれる事でしょう。暫くぶりで訪問したのですが、バッグや袋物等、売っても良い様な出来栄です。プレゼントで喜ばれるので自分の手元に余り残っていないそうです。お正月の壁掛けは和紙の先生(と私は思っています)加賀谷保子さんの指導で和紙の干支の壁掛けを作りました。素敵でした。

月第1と第2金曜日の午後1時からお喋りしながら手を動かしています。どうぞいらしてください。大歓迎です。

◆北上電友会

◎NTTと退職者との交流会開催

平成25年11月15日、市内ホテルに於いて退職者47名の出席を得てNTT岩手と北上地区退職者47名の出席を得てNTT岩手と北上地区退職者交流会を開催しました。

県南営業支店の葛西政志様、県南法人営業

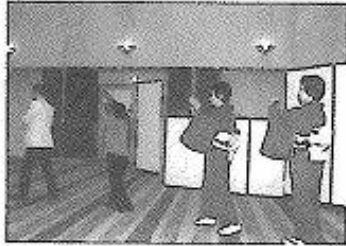
担当課長の及川倉彦様、NTT労組岩手県グループ連絡協議会副会長の谷藤学様のご出席をいただきました。

はじめに石崎武実行委員長から歓迎の挨拶があり、続いて葛西政志様、谷藤学様からお祝辞を頂戴いたしました。

お話からNTTは競争が激化する厳しい環境の中で、NTTグループが一体となって頑張っている様子を窺い知ることが出来ました。懇親会は石崎実行委員長の挨拶で始まり、

高橋正光さんの発声で開宴しました。余興のスタートは仕舞の高橋孝市さん。カラオケを挟みながら、及川フミ子さん・木村

妙子さんを始めとする会員参加の数々の踊り鎌田靖子さんの篠笛、菊池昇さんを始めとするカラオケの数々、川辺邦子さんの「南京玉すだれ」とプログラムは続き、みちのく芸能まつりの「北上おでんせ」を参加者全員で踊って締めくくるまで楽しい時間を過ごしました。



宴の締めは「北上おでんせ」を全員で踊りました

余興気分が良かった

たせいとか、笑い声やお互いを励まし合う光景など血気に包まれておりました。

そして予定の2時間を超す頃、中締

めは高橋首雄実行委員長のユニークな「乾杯」でお互いの再会を誓いあい宴を終了しました。

◎早朝の奉仕活動

4月12日、桜の名所100選でもある北上展勝地で今年も「桜まつり」前清掃活動を行いました。当地は4月15日から5月6日までのまつり期間中に毎年50万人の観光客が訪れる当市最大の観光地です。

実施に先立ち、石崎会長から作業上の注意喚起が行われた後、電友会の名を騙った「振り込め詐欺」(未遂)の事例と注意喚起が行われました。

今年の参加者は37名で、桜並木に沿ったコースを1人1人がゴミ袋を持ち1時間ほど実施でゴミ袋50個ほどになりました。



早朝の清掃奉仕活動(開園93周年の展勝地にて)

作業中に、ある会員が「ここ展勝地は「今年開園93周年になるそうだよ」との話したことから会話が続き、それを聞いた他の会員があと7年で開園100年の節目なんだ、と話したところ「100周年までは続けたいね」との声がそちこちから聞こえてきて、今年も元氣と目標のある清掃活動となり、来年再会するテーマともなりました。

◎26年度定期総会開催

北上の桜の咲き始めとはほぼ一緒の4月19日市内のホテルに於いて岩手支店からの来賓3名と会員50名の出席のもと開催されました。

総会に先立ち、嶽間沢事務局長から電友会の名を騙った振り込め詐欺(未遂)の事例と注意喚起が行われました。

石崎会長からは、会員の動向と拡大、NTTの各種施策に対する会員の協力依頼、中でも厳しい規制環境の中でのNTTの取り組み状況の話から、地域に密着している会員の協力が要と呼びかけがありました。

来賓の及川県南営業支店長からは祝辞の後NTTの近況としてBフレッツ回線の販売状況と今後の方針が示されました。

議事に入り、議長に小野寺君を選出、議長就任のあいさつの後、嶽間沢事務局長から25年度の活動報告が、高橋常任理事から決算報告小松監事から会計監査報告、再び嶽間沢事務局



真剣に取り組む定期総会出席会員の面々

局長から26年度事業計画案、高橋常任幹事から26年度予算案が提案され、いずれも満場一致で承認されました。議事閉会の後、引き続き来賓の武澤課長か

ら、岩手支店限定チラシに基づくフレッツ光おともだち紹介キャンペーン実施、盛岡での通信機器イベント販売実施、野村証券とタイアップした野村ホームトレードの説明など、短時間ではありましたが、中味の濃い説明と紹介がありました。

総会終了後は来賓の方々懇親会を開催。高橋さんの「謡」に始まり、及川さん・木村さんを始めとする会員参加の踊りの数々、カラオケを挟んで川辺さんの南京玉すだれも終わるころには予定の2時間をオーバーするほど盛り上がりました。

懇親会の締めは年齢を感じさせないほど元氣な菊池さんにより中締めとなりました。

◎サークル活動

(1)北上グラウンドゴルフ同好会

25年度は4月26日から練習を開始し11月2日までの7ヶ月間、グラウンドゴルフを楽しみました。練習日は毎週2回、火曜日と土曜日に活動すると共にサークル大会については年4回、5月、7月、9月、11月に実施しました。

納会は、11月2日のサークル大会のあと市内で開催し、そこで年間賞の表彰も行いました。納会では話に華が咲き、和氣藹々のうちに1年間の活動を終了しました。

特に25年度は話題となったことがあります。

それは第16回NTT・OBグラウンドゴルフ岩手県大会で北上地区から優勝者菊池靖さん第2位菊池勉さんをはじめ、ベストテンに5人が入るといふ快挙を成し遂げたことです。対外試合がほとんどないので、技術のレベルが分からない会員にとつては、希望を抱かせる嬉しいニュースとなりました。



入ったー、ナイスパーディ!!!

各賞の表彰は次のとおりです。

・サークル大会

- 第1回大会優勝 鎌倉 功
- 第2回大会優勝 小野寺寿雄
- 第3回大会優勝 及川 和男
- 第4回大会優勝 小野寺寿雄
- ・年間賞
- ベストクロス賞 菊池 靖
- ホールインワン賞 及川 和男
- 皆勤賞 高橋 孜

(2)山楽会

14年目を迎えた我々山楽会は皆、足と口には自信を持ち毎月のトレッキングに日夜精進している處である。まあ、あれから40年以上

も経過している訳であるからして、当然よわ
 いたにはハタチを数回繰返した、或は4回も
 繰返そうとしている兵も居られても何ら不思
 議がる事では無い、何と心強い事か。

さて、去年度の行動を一部紹介させて頂く
 と4月は総会後隣の奥州市の見分森公園へ曇
 り模様でしたが皆さん子供と訪れた記憶を辿
 りながら想い出に浸る1日でした。未だ鹿が

居るんですね。5月、時には電車利用もと言
 う声があり、JRで往復、世界遺産登録の平
 泉へ。手越寺をゆつくりと2時間かけて案内
 して頂きました。こ

れで奥州藤原文化の
 歴史もバツチン。帰
 りは偶然にも電車が
 「弁慶号」と言うチヨ
 コ色の記念列車で展

望車が有りリッチな

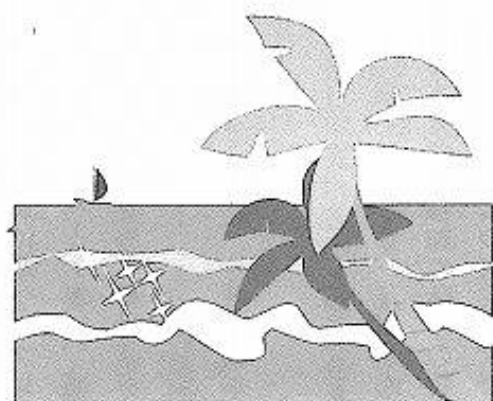


8メートルの雪壁を背に
 (八幡平・アスピーテラインにて)

気分が北上に向かいました。たまにはローカ
 ル列車も良いもんですね。6月は北上、中心
 地から15キロ、夏油スキー場方面手前のハバ
 ラ谷地、車を置いて、1時間程登りで、迷い
 ながらも着いた目的地には野生蘭の一種であ
 るアサヒ蘭それにトキ草が15cm程の身にピン
 クの花を一杯に付け我々を迎えてくれました、
 おかげ様で帰りは迷わず無事帰還。7月は秋

田駒、ガスが多く頂上手前の阿弥陀池一周で
 家路へ。6月に滑落死亡事故が有り危険と判
 断。目前だが帰還とした。長い人生あきらめ
 るも肝心。他に遠野福泉寺、八幡平、紅葉の
 須川岳等、11月の納会は毎度出席率が非常に
 幅狭し(こんな言葉あったよね)21名の参加
 で花巻一流ホテルの「渡り温泉」で行われ、
 今年の活動を締め括りました。

また26年度は、例年秋に訪れていた八幡平
 を春の「雪の回廊」の時期に計画しました、
 期日は5月8日。当日は風も無く又天候に恵
 まれ、素晴らしい雪の回廊に全員が満足した
 1日でした。来年以降訪れる方は回廊の背が
 高い、開通間もなくが良いのでは。



原稿募集のお知らせ

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

- 随想・旅行の思い出等 1,200字以内
 貴方様の顔写真(縦4×横3)とお気に入りの写真1枚
- 短歌・俳句・川柳など1人3首(句)以内